

授業科目名	レクリエーション論	担当教員名	新山 悅子
必修/選択	選択	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分 等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	①レクリエーションの基礎を知る。 ②レクリエーション実践のポイントを理解する。 ③ライフスタイルにおける違いを理解する。 ④レク材を知る。 ⑤ミニレクの実施・アイスブレーキングの実施		
授業の概要	レクリエーションの意義、起源、理論などを知り、レクリエーションの捉え方、考え方を習得する。ライフスタイルにおけるレクリエーションとそのポイントを認識する。レク材を知り、実施の仕方を指導する。		
テキスト	使用しない (自作プリント配付)		
参考書・参考資料等	「レクリエーション技術の基礎」日本レクリエーション協会		
成績評価の方法	平常点 (参加意欲、授業態度) …30% 理解度確認 (中間テスト) …40% レポート…30%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	授業内容の説明。レクリエーションの基礎理論 I 、レクリエーションとは?(1)レクの語源	①	
第2回	(2)レクリエーションの意義	①,⑤	
第3回	2.レクの歴史と背景 (1)海外のレク (2)日本におけるレク	①,⑤	
第4回	(3)レクの基本的考え方 (4)21世紀のレク	①,②,⑤	
第5回	3.レクへの期待 (1)生活者として (2)支持者として	①,②,⑤	
第6回	4.人を支える[支援者]にとってのレク ①生活・人生を豊かにするレク ②人と人と社会をつなぐレク ③手段としてのレク ④人と支援「支援者」にとってのレク	①,②,⑤	
第7回	*レクリエーションの基礎理論 II. インストラクターの役割 1.レク支援の考え方(1)レクによる支援とは? (2)基本的な支援 (3)レク支援の行動指針	①,②,⑤	
第8回	2.レク指導者に期待される役割	①,②,⑤	
第9回	*レクの基礎理論 III. コミュニティワーク 1.	①,②,⑤	
第10回	2.アイスブレーキング (1)アイスブレーキングの意義 (2)基礎技術	①,②,⑤	
第11回	前半の講義の復習。中間テスト	①,②,③	
第12回	*レクの基礎理論 IV. ライフスタイルとレク 1.ライフステージごとの課題を考える ①乳児期、児童期、青年期	③,⑤	
第13回	ライフステージ②壮年期・中年期、老年期、障がい者、女性、家族	③,⑤	
第14回	レク材について①	④,⑤	
第15回	レク材について② (実施…歌、ゲームなど)	④,⑤	
定期試験	定期試験は実施しない		